

家畜衛生広報いいだ

長野県飯田家畜保健衛生所
飯伊家畜畜産物衛生指導協会
TEL : 0265-53-0439、0440
FAX : 0265-53-0441
E-mail : iidakachiku@pref.nagano.lg.jp
<http://www.pref.nagano.lg.jp/iidakachiku/>

H29(2017).6.7 発行 2017_No.2

人も家畜も快適に (*^。^*)

ストレスのない環境が生産力を高めます。

サシバエにご用心！ その生態と対策を考える!!



何が問題(困ること)か？

- ◆ 搾乳時に牛が落ち着かない⇒作業性が落ちる
- ◆ 飼料採食量が落ちる⇒乳量や増体量が低下
- ◆ 長時間の立ち姿勢⇒肢蹄への負担が増える
- ◆ 刺傷から病気(乳房炎、白血病など)がうつる

血が吸いたーい。

サシバエのサインは？

- ◆ 主に春先と晩夏から秋に、朝夕(涼しいと日中)吸血する
- ◆ 牛が盛んに尾を振る
- ◆ 皮膚をブルブル震わす
- ◆ イライラして立ちっぱなしになる
- ◆ フリーストール牛舎では牛が片隅に集まる

イライラ

畜舎のどこで発生？

- ◆ 産卵場所は、屋内の糞、飼料残渣(水分50~80%)
- ◆ 柱の根本、哺乳牛のペン
- ◆ パーラー舎の外周、畜舎の縁石の外側
- ◆ 牛床と飼槽の仕切り、縁石の上、ウォーターカップの下
- ◆ バンククリーナーのエレベーター部分、たい肥舎の壁の隅
- ◆ ライフサイクルは10~26日、成虫は約15日間生存

～ 家畜の様子をよく観察し、速やかに対策を取りましょう ～

被害を防ぐには？ 4つの対策を組み合わせる！

発生(産卵)場所を無くす

- ◆ 幼虫のエサは、糞と飼料残渣(産卵の標的)
- ◆ 隅々まで、こまめな清掃を行う
- ◆ 糞を1週間放置しない(切り返してたい肥化)

～ 幼虫は清掃しにくく牛に踏まれないところにいる ～

薬剤散布プログラム

- ◆ 基本は幼虫対策(成虫対策の効果は一時的)
- ◆ 主に脱皮阻害剤(IGR剤)を用いる
- ◆ 2週間間隔で定期的に散布する
- ◆ 既定の量に希釈し発生しそうな場所に数cm下まで浸透するように散布する

防虫ネット

- ◆ 「入りにくく出にくい」環境を作る
- ◆ 吸血直後は、高く飛べない(80%以上が1.5m以下)
- ◆ 休息場所のある側面のみ設置、上部解放でも効果
- ◆ ネットの目合いは2mm以下
- ◆ 防風ネットの使用をお勧め
- ◆ 設置コストは取り付け方法で決まる

草むら対策と送風

- ◆ 周囲の草むらを徹底的になくす
- ◆ 牛体や畜舎内に常時一定の送風量を保つ



詳しくは飯田家畜保健衛生所へ



※兵庫「The Fly Project」チームがH22年3月に作成した「牛舎のサシバエ対策」等を参考にしました